



森下さち子 ニュース

【2010年4月号】和歌山市鳴神1145-6 Tel. 474-6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> Tel. 435-1113

《森下さち子奮闘中》

日本共産党の粘り強いとりくみの成果が 少しずつカタチになっています

資源ごみ(ビン・カン・ ペットボトル・紙の 集団回収がスタート

日本共産党市会議員団

登録が必要です

がたびたび取り上げてきた「資源ごみの集団回収」は、ごみの減量と取り組む団体への奨励金という還元を同時に進めることのできる優れた制度です。県内では海南市や橋本市などすでに取り組んで成果を上げています。

資源ごみの集団回収は、ごみの減量と取り組む団体への奨励金という還元を同時に進めることのできる優れた制度です。県内では海南市や橋本市などすでに取り組んで成果を上げています。

資源ごみの集団回収は、ごみの減量と取り組む団体への奨励金という還元を同時に進めることのできる優れた制度です。県内では海南市や橋本市などすでに取り組んで成果を上げています。

資源ごみの集団回収は、ごみの減量と取り組む団体への奨励金という還元を同時に進めることのできる優れた制度です。県内では海南市や橋本市などすでに取り組んで成果を上げています。

資源ごみの集団回収は、ごみの減量と取り組む団体への奨励金という還元を同時に進めることのできる優れた制度です。県内では海南市や橋本市などすでに取り組んで成果を上げています。

先日、朝日新聞で有家西自治会の取り組みの様子を紹介されていました。業者が引き取る際にできるだけ商品価値が上がるように、排出には点検作業など必要です。

5月10日から先着100団体の登録が始まります。集団回収に取り組む団体とは、自治会、PTA、婦人団体など会則と会計を持つているものなら認められます。

集団回収は取り組む団体が引き取り業者と契約し、資源の種類別に決められた単価で取引をすることになります。



市議員団でもみなさんが取り組みやすいように学習会や説明会などに取り組んでいきたいと考えています。

【問い合わせ】

一般廃棄物課

435・1352
435・1113
日本共産党市会議員団

桜の花もすっかり終わりを告げ、これからはツツジが見ごろを迎えます。ジャスミンの香りが漂い始めるのももうすぐですね。季節は新緑へと進みつつあります。

私は、季節では相変わらず夏が好きですが、新緑にも心がワクワクします。みなさんの好きな季節はいつですか。今年は寒暖の差が激しい春となり、体調を崩す方が多いとか…。

どうぞご自愛ください。



核兵器廃絶と世界恒久平和の実現をめざして・・・



和歌山市が「平和市長会議」に加盟

2月議会の代表質問で「平和市長会議」への加盟について取り上げたところ、「加盟を検討する」との答弁が市長からあり、4月から加盟しました。

《県内その他加盟自治体》

新宮市・田辺市・印南町・上富田町・白浜町・すさみ町・太地町・日高町・みなべ町・美浜町・由良町

◆1982年、ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会で広島市長が、都市の連帯を通じて核兵器のない平和な世界を実現しようと「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱。広島市・長崎市両市長が世界各国都市にこの計画への賛同を求めてきました。

◆「平和市長会議」はこの計画に賛同する都市で構成された団体です。2010年4月1日現在、世界143カ国・地域3793都市が加盟しています。

ご協力ありがとうございます！ 核廃絶国際署名10万筆を突破！

NPT(核不拡散条約)再検討会議が5月3日からニューヨークで開かれます。世界には現在2万3千発もの核兵器が存在しています。核廃絶を求めて大きなチャンスともなるNPT会議が開かれるニューヨークへ「核廃絶国際署名」を携えて、和歌山県から代表団が参加します(諸団体から若者や女性も含めた16名)。県の署名目標は達成しましたが、引き続きの署名にどうぞご協力ください。

※NPT(核不拡散)条約

核兵器の保有をアメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国に限定し、それ以外への核が拡散することを防止しようという条約



学童保育の改善が前進しました

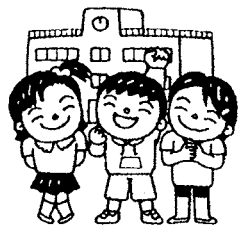
増える待機児童

小学校に通う子どもたちの放課後を安心して過ごすための制度が学童保育(放課後児童健全育成事業)ですが、希望者がどんどん増え、待機児童が出ています。

教室設置の予算化実現

本来、放課後保護者が家庭にいない子供達が希望すれば入れるのですが、小学校によっては児童数が増えたことにより余裕教室が提供できず、希望しても入れないという状況になってい

ます。



定されます。

余裕教室がなければプレハブ教室を建てる、近隣の公共施設や民家を活用するなど対応するよう求められました。今年度2カ所のプレハブ教室が予算化されました。1年生から抽選が行われていた八幡台小学校は夏休みに建設が予定されています。あと1カ所は夏休みまでの様子を見て決

開設時間を保護者の労働実態に合わせた6時までにと

いう要望も繰り返し求めてきたところ、今年度実現することになりました。長期休暇中の開始時間も30分早まります。

これからも、保護者のみなさんと粘り強く取り組んで

「候補者会議」に参加

(4月13日)

いきたいと考えています。学童保育に限らず、悩んでいることがあれば気軽にご連絡ください。

東京代々木の党本部に行

くのは初めてで少々緊張気味でした。前日より政府交渉のため行っていた南畑市議、渡辺市議のチームと合流し会議に参加しました。

政令市、県庁所在市、都道府県から議員総勢700名が集まった候補者会議では、志位委員長の報告のあと、17名から発言があり、夏の参議院選挙への積極的な取り組みが報告されました。多くの有権者と対話すること、現在の情勢の変化と有権者の願いをよりリアルに受け止めることができると実感しました。

県会議員 ふじい健太郎

こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



2月県議会で、日本共産党県議団が反対した議案の一つに、県が貸し付けたお金が回収できずに請求権を放棄するという議案がありました。

新宮市の「熊野食肉事業協同組合」に昭和58～59年にかけて3億5750万円を融資しましたが、2565万5千円しか返済されず、残りの3億3184万5千円の回収をあきらめるというものです。

貸付に対する検討会や審査会が開かれた公文書は存在せず、事業用地は組合員同士で転売されていました。経営の見通しや返済能力よりも同和対策の融資ということが優先されていたのです。

昨年の6月議会でも5組合26億円の債権放棄を行いました。県は回収に全力をあげて努力するとは言っているものの、不透明な貸付に対する反省の弁はありませんでした。

おつきく

なあれ

森下さち子の
元奇(ん
成長日記

いよいよ、この4月で元哉は3年生。進学を希望しているので、3つ下の妹と共に受験生です。来年の春は、母である私にとっても改選の年になるので、親子共々、受験生というところでしょうか。ところで、シューカツ(就活)と言われる就職活動は現在、熾烈を極めていきます。私が学生の頃は4回生の秋頃であつたのが、今は4回生になるかならないかです。就職が始まるそうです。しかも、今の時点でエントリーし、面接にこきつけないと就職の可能性が低くなるということでした。かつて、大学は出たけれどと言われた時代がありました。再び同じことが起きています。むしろ今の方がより深刻と言えます。高校生の就職率も50%を割っていると。一日も早く、青年の雇用対策を講じること、労働者派遣法の抜本改善が望まれます。真面目に働きさえすれば生活できるという当たり前の状態にするため、力を尽くさなければと切に思うこの頃です。